

(3面から続く)

たない状況で、二年連続の組織減少となりまし  
た。春の拡大運動では目  
標達成することができま  
せんでした。春の拡大運  
動の反省から「秋の拡大  
は全分会で目標達成しよ  
う」と、七月二十六日に分  
会・群役員学習会を開催  
七月二十八日から地域一  
斉ボスティング行動と全  
組合員訪問行動に取り組  
み、秋の拡大月間に備え  
ました。結果として秋の  
拡大は全分会で目標達成  
することができました。

しかし秋の拡大終了後  
の総括では、拡大運動に  
対する姿勢や意義につい  
て疑問が持たれ、「今の  
ままの拡大運動で良いの  
か」「拡大は大切だが、  
数字だけを追う拡大で良  
いのか」「仕事がない現  
実を見た方がよい」など  
の声が聞かれています。

また、「役員だけの拡大  
行動で、組合員の協力が  
得られない」など、拡大  
運動の課題も残りまし  
た。拡大運動に対する矛  
盾や厳しさをはねのける  
為にも、多くの仲間が結  
りません。

### ②支部・分会組織確立に 向けたとりくみ

支部・分会組織確立に  
ついては、第四九回大会  
で、居住地組織、分会組  
織数の格差、分会役員体  
制の確立、分会財政など  
の点から分会再編を検討  
していく事が提起されて

集した拡大運動にする必  
要があります。組織を守  
つていくには拡大運動は  
欠かせませんし、建設産  
業を変えていくためにも  
建設労働者の結集が必要  
です。東京土建の運動を  
前進させていく拡大運動  
と流れについて議論して  
きました。二月の支部執  
行委員会では、検討委員  
会からの報告を受け、組  
織再編に向けた方針案を  
確認してきました。

すでに、八広第一分会  
と八広第二分会、京島分  
会と東向島分会、押上分  
会と文花分会の役員が、  
分会再編に向けて合同会  
議を行っています。

以上が二〇〇九年度の主な運動の特徴です。  
具体的な取り組みについては、各専門部報告  
(大会議案に掲載)で示しています。



拡大運動も元氣な主婦の会

### ③役員体制と 若年組合員の組合活動

昨年の支部常任執行委  
員は定数を満たしておら  
ず、専門部長の兼任が出  
てしまいました。一分会  
一人の常任の選出をお願  
いしていますが、全分会  
からの選出にはなってい  
ません。各専門部機能を  
発揮するには、一専門部  
一人の部長が望ましく、  
運動を推進していく為  
も常任の定数確保が必要  
です。分会役員について  
も兼任している分会や七  
〇歳を超えている専門部  
員が選出されている分会  
があり、分会再編と共に  
次年度の課題となりまし  
た。

### ④支部財政について

昨年度の支部財政は、  
圧縮した予算の中で、ほ  
ぼ予算通りの執行となり  
ました。支出については、  
支部の地域に根ざした運  
動の前進から、一般活動  
費と、それに伴う項目で  
予算を上回りましたが、  
全体ではほぼ順調に推移  
したと言えます。

政権交代による新しい  
政治のもと、私たちが主  
役の国民生活を築く運動  
を進めるために、以下の  
方針を重点課題と位置づ  
け運動を推進していきま  
す。墨田支部は、全建総  
連、東京土建本部の運動  
方針を基本に据え、運動  
の前進を図るため、支部  
の方針を具体化し、各分  
会が具体的な行動計画と  
運動実践を進めて行くた  
めに、今年度の基本方針  
を基に運動を進めていき  
ます。



分会・群役員学習会

全ての人が、安心して  
生活することができる社  
会保障制度を確立し、個  
人の尊厳が守られる高福  
祉社会の実現を目指して  
いきます。いつでも、ど  
こでも、だれでも安心し  
て良質な医療サービスが  
受けられるよう、国民医  
療制度、国民皆保険制度  
の拡充を求める運動を廣  
げていきます。民主党政  
権で公約した後期高齢者  
医療制度の廃止を求める  
運動の強化と同時に、医  
療保険一元化阻止の運動  
を進めていきます。

(5面へ続く)

## 2、10年度の主な運動の重点

### (一)今年度の運動 方針にあたって

政権交代による新しい  
政治のもと、私たちが主  
役の国民生活を築く運動  
を進めるために、以下の  
方針を重点課題と位置づ  
け運動を推進していきま  
す。墨田支部は、全建総  
連、東京土建本部の運動  
方針を基本に据え、運動  
の前進を図るため、支部  
の方針を具体化し、各分  
会が具体的な行動計画と  
運動実践を進めて行くた  
めに、今年度の基本方針  
を基に運動を進めていき  
ます。



昨年の本部定期大会

⑤運動を進めていくた  
めには、組織強化が必要  
です。建設産業発展、労  
働条件改善などの運動を  
進めていくためにも、未  
加入の建設産業従事者・  
事業所の組合への結集を  
図ることが重要です。組  
織拡大を成功させ、建設  
産業において多数派形成  
を目指し、組織強化を進  
めます。全分会が組織増  
勢を目指します。

### (二)社会保障の とりくみ

#### ①社会保障制度改善・ 充実を求めるとりくみ

今年、参議院選挙が  
行われます。昨年、政権  
交代が実現して初めての  
国政選挙となります。東  
京土建は、政党支持・思  
想の自由を保障する立場  
で、確認してまいります。

(5面へ続く)